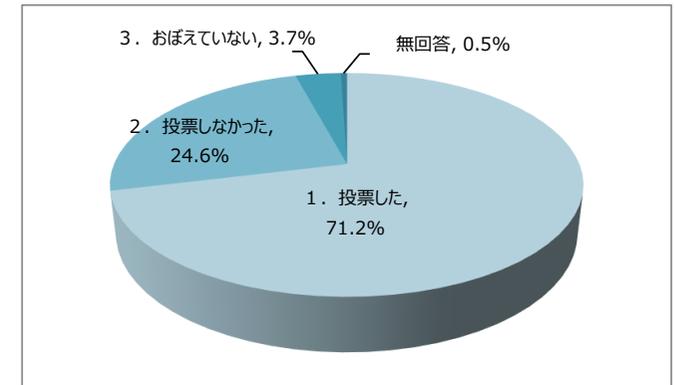


令和5年堺市長選挙等に関するアンケート調査〔単純集計〕

問1 あなたは、令和5年6月4日の堺市長選挙（以下単に「堺市長選挙」という。）では投票されましたか？（1つ選択）

1. 投票した	779	71.2%
2. 投票しなかった	269	24.6%
3. おぼえていない	41	3.7%
無回答	6	0.5%
	1,095	100.0%

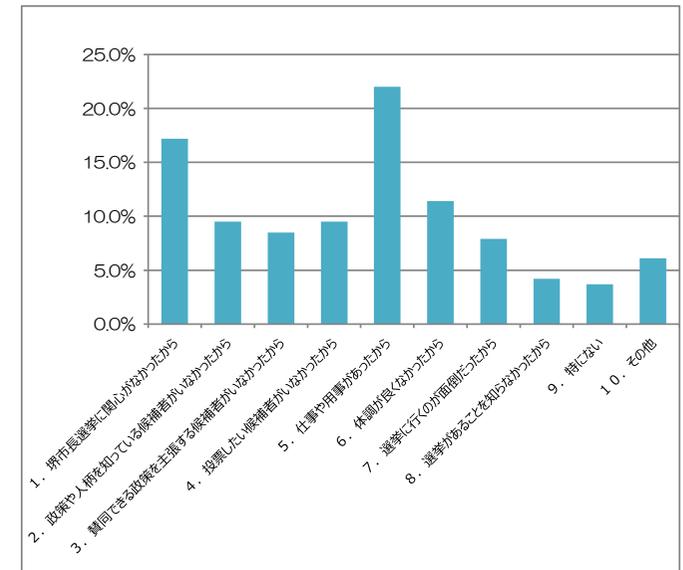
市長選挙の投票率は34.12%であった。アンケート調査で「投票した」と回答された有権者は、71.2%となっており、実際の投票率よりも割合が高くなっている。これは、調査票の回収率が100%（送付総数3,000）ではなく、「投票しなかった」人はアンケート調査にも協力しない傾向があると推測される。よって、「投票した」と回答する人の割合が、実際の市長選挙での投票率よりも高くなると考えられる。



問2（問1において「2」と回答）投票しなかった理由は何ですか？（複数選択可）

1. 堺市長選挙に関心がなかったから	65	17.2%
2. 政策や人柄を知っている候補者がいなかったから	36	9.5%
3. 賛同できる政策を主張する候補者がいなかったから	32	8.5%
4. 投票したい候補者がいなかったから	36	9.5%
5. 仕事や用事があったから	83	22.0%
6. 体調が良くなかったから	43	11.4%
7. 選挙に行くのが面倒だったから	30	7.9%
8. 選挙があることを知らなかったから	16	4.2%
9. 特になし	14	3.7%
10. その他	23	6.1%
	378	100%

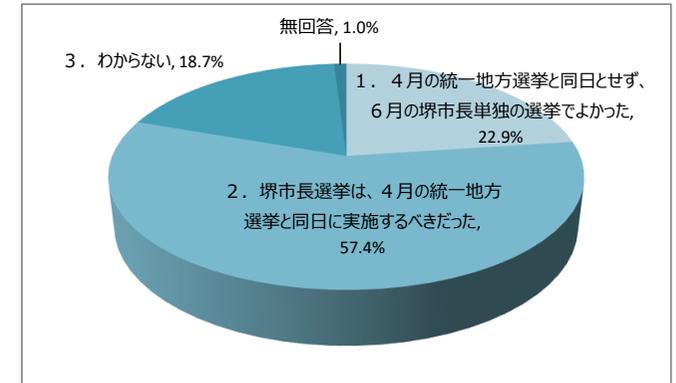
「投票しなかった」と回答された有権者に理由を尋ねたところ、22%が「仕事や用事があったから」、17.2%が「堺市長選挙に関心がなかったから」、11.4%が「体調が良くなかったから」、9.5%が「政策や人柄を知っている候補者がいなかったから」と「投票したい候補者がいなかったから」などの順で回答率が高くなっている。



堺市選挙管理委員会では、前述の補足説明資料の意見を経て、堺市長選挙の日程について、令和5年4月9日の統一  
**問3 地方選挙（大阪府知事選挙・大阪府議会議員選挙・堺市議会議員選挙）に合わせず、令和5年6月4日の堺市長単  
 独の選挙に決定しました。このことについて、あなたはどのように考えますか？（1つ選択）**

1. 4月の統一地方選挙と同日とせず、6月の堺市長単独の選挙でよかった	251	22.9%
2. 堺市長選挙は、4月の統一地方選挙と同日に実施するべきだった	628	57.4%
3. わからない	205	18.7%
無回答	11	1.0%
	1,095	100%

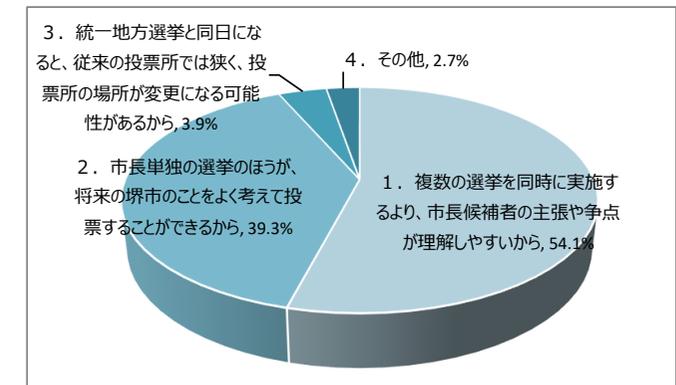
市長選挙の日程について、統一地方選挙（大阪府知事選挙・大阪府議会議員選挙・堺市議  
 会議員選挙）に合わせず市長単独で執行したことについて、有権者の考えをお尋ねしたところ、  
 57.4%が「堺市長選挙は、4月の統一地方選挙と同日に実施するべきだった」、22.9%が「単独  
 の選挙でよかった」、18.7%が「わからない」と回答されている。



**問4（問3において「1」と回答）なぜ、堺市長選挙は単独選挙でよかったと思われましたか？（複数選択可）**

1. 複数の選挙を同時に実施するより、市長候補者の主張や争点が理解しやすいから	179	54.1%
2. 市長単独の選挙のほうが、将来の堺市のことをよく考えて投票することができるから	130	39.3%
3. 統一地方選挙と同日になると、従来の投票所では狭く、投票所の場所が変更になる可能性があるから	13	3.9%
4. その他	9	2.7%
	331	100%

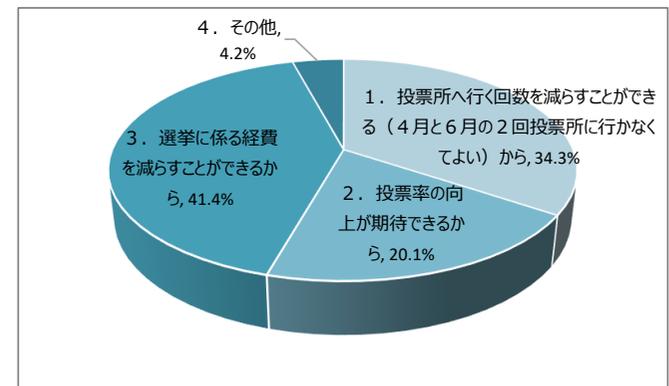
「単独の選挙でよかった」と回答された有権者に理由を尋ねたところ、54.1%が「市長候補者の主  
 張や争点が理解しやすいから」、39.3%が「将来の堺市のことをよく考えて投票することができる  
 から」と回答されている。



問5 (問3において「2」と回答) なぜ、堺市長選挙を令和5年4月の統一地方選挙と同日に実施するべきと思いましたか？  
(複数選択可)

1. 投票所へ行く回数を減らすことができる(4月と6月の2回投票所に行かなくてよい)から	427	34.3%
2. 投票率の向上が期待できるから	251	20.1%
3. 選挙に係る経費を減らすことができるから	516	41.4%
4. その他	52	4.2%
	1,246	100%

「堺市長選挙は、4月の統一地方選挙と同日に実施するべきだった」と回答された有権者に理由を尋ねたところ、41.4%が「選挙に係る経費を減らすことができるから」、34.3%が「投票所へ行く回数を減らすことができる(4月と6月の2回投票所に行かなくてよい)」、20.1%が「投票率の向上が期待できるから」と回答されている。



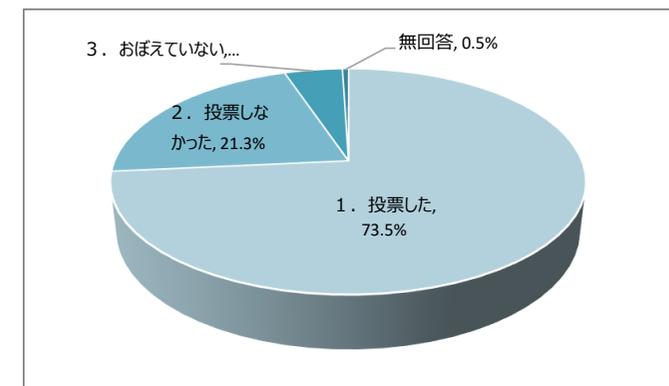
問6 (問3において「3」と回答) ご意見等ございましたら、ご記入ください。(自由記載)

(省略)

問7 あなたは、令和5年4月9日の堺市議会議員選挙(以下「堺市議選挙」という。)では投票されましたか？  
(1つ選択)

1. 投票した	805	73.5%
2. 投票しなかった	234	21.3%
3. おぼえていない	51	4.7%
無回答	5	0.5%
	1,095	100%

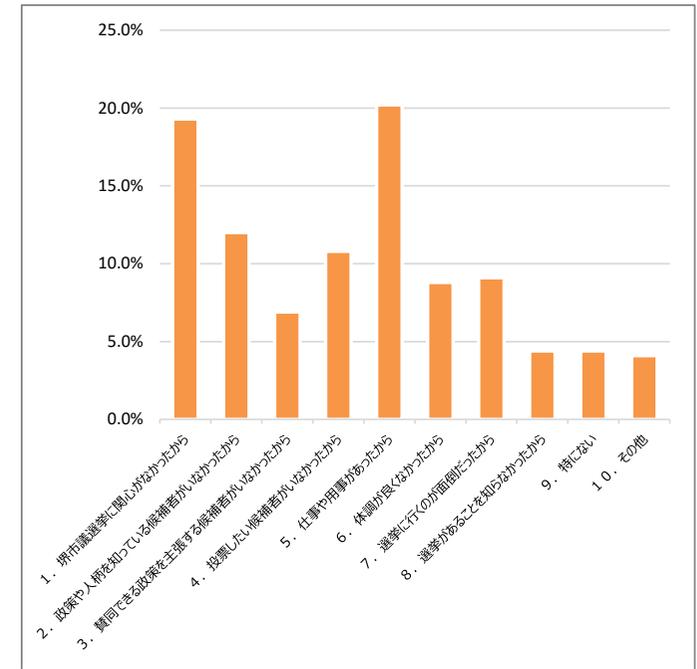
「堺市議選挙で投票したか」を尋ねたところ、73.5%が「投票した」、21.3%が「投票しなかった」と回答されている。



問8 (問7において「2」と回答) 投票しなかった理由は何ですか？(複数選択可)

1. 堺市議選挙に関心がなかったから	61	19.3%
2. 政策や人柄を知っている候補者がいなかったから	38	12.0%
3. 賛同できる政策を主張する候補者がいなかったから	22	6.9%
4. 投票したい候補者がいなかったから	34	10.8%
5. 仕事や用事があったから	64	20.2%
6. 体調が良くなかったから	28	8.8%
7. 選挙に行くのが面倒だったから	29	9.1%
8. 選挙があることを知らなかったから	14	4.4%
9. 特にない	14	4.4%
10. その他	13	4.1%
	317	100%

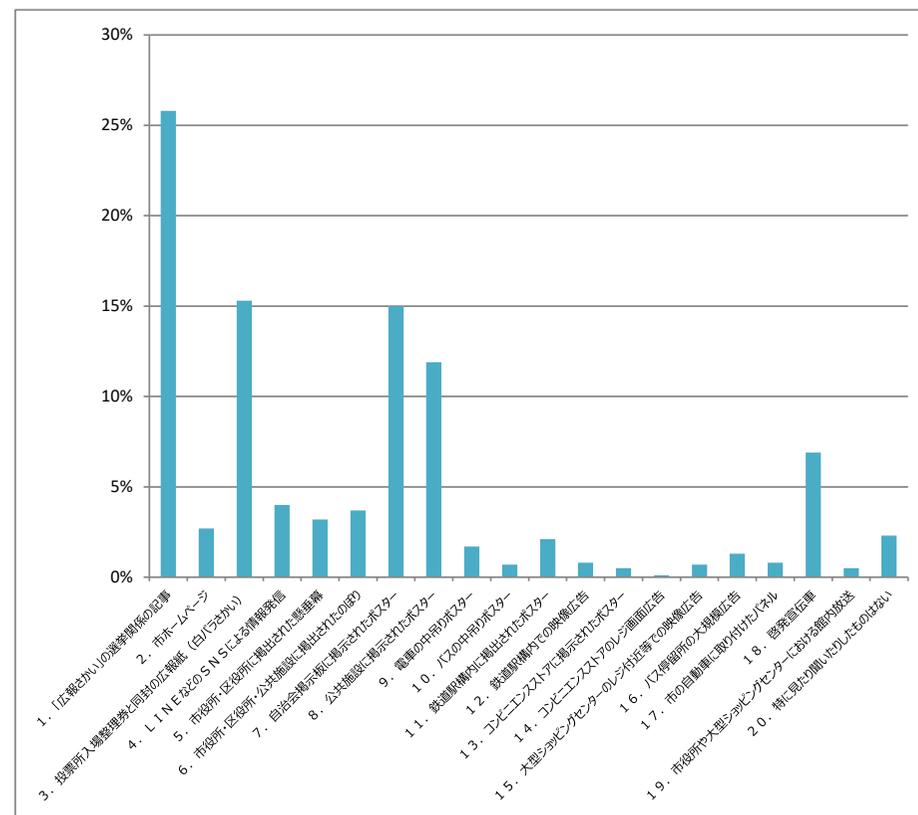
市議選挙で投票しなかった理由を尋ねたところ、20.2%が「仕事や用事があったから」、19.3%が「堺市議選挙に関心がなかったから」、12.0%が「政策や人柄を知っている候補者がいなかったから」、10.8%が「投票したい候補者がいなかったから」などの順で回答率が高くなっている。



問9 堺市選挙管理委員会では、選挙期日などを周知するための選挙啓発事業を実施しています。堺市議選挙及び堺市長選挙において、あなたが見たり聞いたりしたものは何ですか？（複数選択可）

1. 「広報さかい」の選挙関係の記事	659	25.8%
2. 市ホームページ	69	2.7%
3. 投票所入場整理券と同封の広報紙（白バラさかい）	392	15.3%
4. LINEなどのSNSによる情報発信	103	4.0%
5. 市役所・区役所に掲出された懸垂幕	82	3.2%
6. 市役所・区役所・公共施設に掲出されたのぼり	95	3.7%
7. 自治会掲示板に掲示されたポスター	383	15.0%
8. 公共施設に掲示されたポスター	305	11.9%
9. 電車の中吊りポスター	44	1.7%
10. バスの中吊りポスター	18	0.7%
11. 鉄道駅構内に掲出されたポスター	54	2.1%
12. 鉄道駅構内での映像広告	20	0.8%
13. コンビニエンスストアに掲示されたポスター	12	0.5%
14. コンビニエンスストアのレジ画面広告	2	0.1%
15. 大型ショッピングセンターのレジ付近等での映像広告	17	0.7%
16. バス停留所の大規模広告	33	1.3%
17. 市の自動車に取り付けたパネル	20	0.8%
18. 啓発宣伝車	177	6.9%
19. 市役所や大型ショッピングセンターにおける館内放送	12	0.5%
20. 特に見たり聞いたりしたものはない	59	2.3%
	2,556	100%

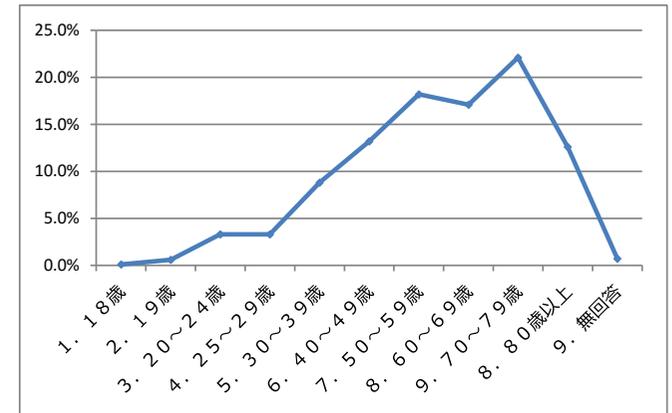
市議選挙及び市長選挙において、選挙啓発事業の認知度を尋ねたところ、25.8%が「広報さかいの選挙関係の記事」、15.3%が「投票所入場整理券と同封の広報紙（白バラさかい）」、15.0%が「自治会掲示板に掲示されたポスター」、11.9%が「公共施設に掲示されたポスター」などの順で回答率が高くなっている。



問 1 0 あなたの年齢について教えてください。(令和6年2月1日時点)

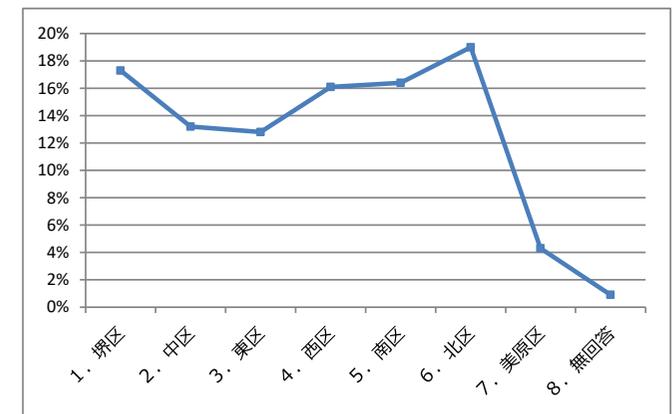
1. 18歳	1	0.1%
2. 19歳	7	0.6%
3. 20～24歳	36	3.3%
4. 25～29歳	36	3.3%
5. 30～39歳	96	8.8%
6. 40～49歳	145	13.2%
7. 50～59歳	199	18.2%
8. 60～69歳	187	17.1%
9. 70～79歳	242	22.1%
8. 80歳以上	138	12.6%
9. 無回答	8	0.7%
	1,095	100%

アンケートに回答され、返信していただいた年齢層別の回答割合は、10歳代0.7%、20歳代6.6%、30歳代8.8%、40歳代13.2%、50歳代18.2%、60歳代以降の高年齢層が51.8%となっている。



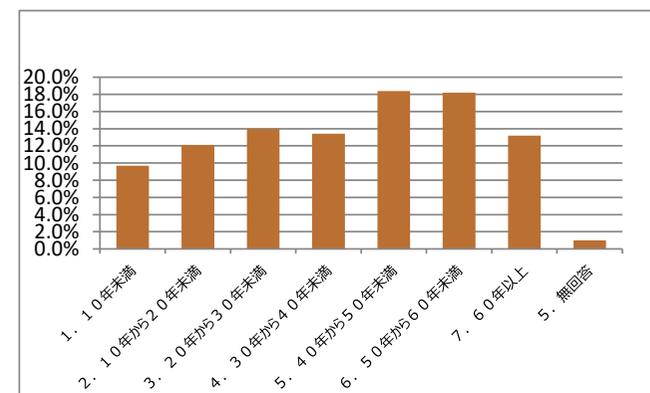
問 1 1 あなたのお住まいの区について教えてください。(令和6年2月1日時点)

1. 堺区	190	17.3%
2. 中区	144	13.2%
3. 東区	140	12.8%
4. 西区	176	16.1%
5. 南区	180	16.4%
6. 北区	208	19.0%
7. 美原区	47	4.3%
8. 無回答	10	0.9%
	1,095	100%



問 12 あなたは堺市に何年ぐらい住んでいますか？（令和6年2月1日時点）

1. 10年未満	106	9.7%
2. 10年から20年未満	132	12.1%
3. 20年から30年未満	153	14.0%
4. 30年から40年未満	147	13.4%
5. 40年から50年未満	202	18.4%
6. 50年から60年未満	199	18.2%
7. 60年以上	145	13.2%
5. 無回答	11	1.0%
	1,095	100%



調査結果について

令和5年6月に実施した堺市長選挙について、令和5年4月の統一地方選挙の日程に合わせず、堺市長単独の選挙としたことに対して、有権者の皆様の考え等を伺い、今後の適正な選挙執行の推進に役立てるため調査を実施した。

市内の有権者の中から、無作為に3,000人の方に調査票を送付し、1,095人の方から回答をいただき、その結果をまとめている。

今回の調査結果から、市長選挙の日程については、57.4%が「4月の統一地方選挙と同日に実施するべきだった」、22.9%が「単独の選挙でよかった」、18.7%が「わからない」との回答であった。回答をいただいた有権者の多くは「堺市長選挙」と「統一地方選挙」の日程を合わせるべきと考える割合が高く、その理由として「経費を抑えることができる」と回答された方の割合が高くなっている。

なお、市長選挙の投票率は34.12%であったが、当アンケート調査で「投票した」と回答された有権者は、71.2%となっており、実際の投票率よりも割合が高くなっている。これは、調査票の回収率が100%（送付総数3,000）ではなく、「投票しなかった」人はアンケート調査にも協力しない傾向があると推測される。よって、「投票した」と回答する人の割合が、実際の市長選挙での投票率よりも高くなると考えられる。